

青森県	機関名	青森県
	部署名	交通・地域社会部地域生活文化課 文化スポーツ・NPOグループ
	電話連絡先	017-734-9207

事業名	高校生ファッションチャレンジ事業
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

創造力豊かで、チャレンジ精神あふれる人材の育成や、産業・地域の活性化を図るため、「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)」を毎年度開催している。
 ※平成 12～16 年度は県主催、平成 17 年度からはファッション甲子園実行委員会主催(県は実行委員会構成員として開催支援)

【第 23 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会
(ファッション甲子園 2024) 最終審査会】

- ・期 日:令和6年8月 25 日(日)
- ・場 所:弘前文化センター
- ・出 場:34 チーム(ファッションデザイン画の
応募総数 1,929 点(全国 95 校)から選ばれた 34 点)
- ・審査員:著名なファッションジャーナリストや
ファッションディレクター等
- ※Youtube ライブ配信視聴数:5,000 回



< 参考 URL >

<https://www.f-koshien.com/>



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成 12 年度	11,000 千円 (全体予算 26,053 千円)

青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0172-55-6740	
事業名	デザイン部業務		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザイン部は企業の事業化支援のため、「デザイン視点を加えた商品開発」および「地域工芸品の異分野展開」に関する研究と実用化を推進している。そのために以下の研究・および業務目標を掲げている。</p>			
<p>1. 開発研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者の社会参加を促す工芸プログラムに関する試験・研究開発 ◆高度技能に基づいた伝統工芸サブブランドに関する試験・研究開発 <li style="padding-left: 20px;">* 概要については次項に記載 			
<p>2. デザイン関連技術支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆技術普及: 研究会・研修会等を通じた企業支援と産業振興 ◆デザイン相談: 消費者ニーズに合致した商品の企画開発を支援 ◆技術相談: 商品開発や製造業務の中で出現した技術的課題への対応 ◆機器及び設備利用: 製品開発および販売促進ツール開発を支援するための機器および設備の貸出 ◆その他: デザイン依頼や試験、共同研究、受託研究を実施 			
<p>3. デザイン部員数: 5名</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		経常	1,000 千円



写真スタジオ



フラットベット型 UV プリンタ

レーザー彫刻機

青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所
	部署名	デザイン部
	電話連絡先	0172-55-6740

事業名	高齢者の社会参加を促す工芸プログラムに関する試験・研究開発 (R6-8)
-----	--------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本研究は、高齢者の社会参加を促進するためのフレイル予防を目的とした工芸プログラムの開発に関するものである。作業療法技術の考え方を応用し、「身体・心・社会性」のうち「心・社会性」に焦点を当てた工芸体験を開発している。目標は、既存の工芸体験に福祉視点を取り入れた新たな工芸ビジネスモデルの創出である。令和7年度の実績として、工芸体験の調査分析5件と試作体験キット2件、プログラム開発6件、ビデオマニュアルの作成、模擬試験の実施、特許申請などを行った。

<体験講座の基本構成案 (R6 作成) >

工 程	目安時間 (全60分)	内 容	その他
導 入	5分	説 明・リラックス	相互に交流可能な状況を作る。
知る活動	10分	情 報 提 供 と 共 有	歴史・文化を共有する。
創る活動	30分	作 業	※20分以上の工程は分割する。 (高齢者対応)
ま と め	10分	発 表 と 振 り 返 り	作品を褒める。会話を促す。



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	1,017 千円

青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所
	部署名	デザイン部
	電話連絡先	0172-55-6740

事業名	高度技能に基づいた伝統工芸サブブランドに関する試験・研究開発(R6-8)
------------	--------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本研究は、津軽塗の高度な技術を活用して、若年層が手に取りやすい価格帯のサブブランドを開発することを目的としている。近年若年層(15~34歳)の工芸品への関心が高まっているものの、適切な価格帯の商品が不足していることが課題である。課題解決の具体的なアプローチとして、津軽塗の製造技術を活用し、サブブランド商品の仕様書を作成するとともに、作業工程の分析や品質評価基準の設定を行っている。令和7年度は、試験片を用いた加飾分析や試作を進め、サブブランドの定義づけや、技術・商品の価格の根拠、デザインに関する知識などを共有するための工芸サブブランド研究会を開催し少ない工程でも技術が伝わる表現を提案した。

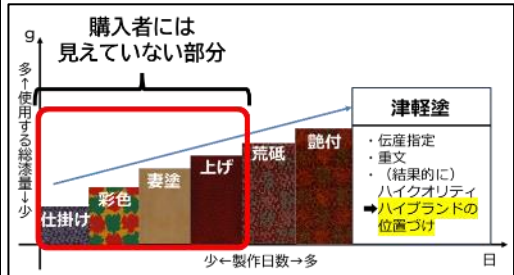


図 津軽塗のコストの見える化






工芸サブブランド研究会



研究会で提案した試作

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	1,141千円

青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0172-55-6740	
事業名	職人と地方公設試験研究機関の関係史から構想する津軽塗の多様性の復権と技術継承(科研費:課題番号 22K01089、研究分担者)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>本研究は、地方公設試験研究機関の活動史及び技術研究蓄積を再評価し、津軽塗デジタルアーカイブの構築と情報発信を通じて、職人と漆器の使い手(消費者)を横断的につなぎ、津軽塗の多様性を発信することを目的としている。これまでの主な取り組みとして、旧青森県工業試験場時代に制作された漆塗試作手板のデジタルアーカイブの作成や試験場 0B に対するインタビュー調査などを行い、津軽塗の魅力を職人自らが発信するための津軽塗「仕掛け」ワークショップを企画・開催した。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>R5 大学生向けワークショップ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>R5 一般市民向けワークショップ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>R7 高校生向けワークショップ</p> </div> </div>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定(R8で終了)		令和4年度	1,000 千円

青森県	機関名	八戸市	
	部署名	商工労働まちづくり部商工課	
	電話連絡先	0178-43-9242	
事業名	知的財産権対策支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>知的財産の保護及びその戦略的な活用に係る課題を抱えている中小企業者を対象として、弁理士による無料相談の実施、セミナーの開催及び国内特許等出願費補助金の交付を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁理士による無料相談 知的財産権全般に係る相談を無料で受け付けております(要事前予約)。 ・セミナーの開催 知的財産権の基礎についてのセミナーを年3回程度開催しております(参加無料)。 会場:八戸インテリジェントプラザ(八戸市北インター工業団地1-4-43) 講師:弁理士 富沢 知成 氏(株)八戸インテリジェントプラザ 知的財産アドバイザー) ・国内特許等出願費補助金の交付 国内特許、国内実用新案及び国内意匠の出願を行う中小企業者(八戸圏域連携中枢都市圏構成市町村内のものに限る。)を対象として、出願に係る経費の一部を補助する。 補助対象経費:出願に必要な特許庁出願料及び弁理士経費 補助金上限額:(特許)15万円 (実用新案)10万円 (意匠)5万円(2件まで) <p>【申込先(3件共通)】 (株)八戸インテリジェントプラザ(八戸市北インター工業団地1-4-43) 電話:0178-21-2111 ファックス:0178-21-2119</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度で事業終了		平成13年度	4,190千円

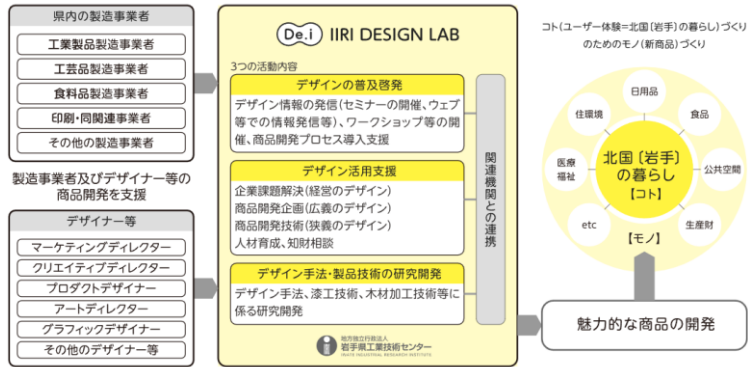
岩手県	機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター	
	部署名	産業デザイン部	
	電話連絡先	019-635-1115	
事業名	技術支援事業及び研究開発事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>研究成果や職員の専門的知識等を活用した技術相談、依頼試験への対応のほか、設備機器の貸出などを通じて県内の企業活動を支援しています。</p> <p>①復興支援 センターの持つ技術資源を活用し、企画、製品開発・技術開発、製品化、事業化までを総合的に支援します。</p> <p>②技術相談 新技術の照会、製品・原材料の分析や技術開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。</p> <p>③企業訪問 企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。</p> <p>④依頼試験等 各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。また、加工(デザイン加工含む)を行い、加工品をお渡しします。</p> <p>⑤デザイン制作 企業等の希望により、デザイン制作を行います。デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工で対応します。</p> <p>⑥設備機器貸出 センターが所有する機器を貸出します。一部の機器は所外への貸出も行っています。</p> <p>⑦受託研究 企業等の希望により、センターが行う研究です。</p> <p>⑧共同研究 企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。</p> <p>⑨人材育成 講習会の開催、職員の講師派遣、研修生の受入などを行うことで、企業技術者等の育成を支援します。</p> <p>⑩研究員派遣 技術開発に係る試験、研究、分析、検査、評価などに関する技術支援のため、研究員を企業等に派遣します。</p> <p>⑪研究開発型人材育成支援 新商品開発や技術課題解決などのため、企業等の技術者を受入れ、研究開発及び人材育成を支援します。</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-

岩手県	機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115

事業名	IIRI DESIGN LAB (De.i)におけるデザイン支援
-----	----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、平成 31 年 4 月に、デザイン支援拠点「IIRIDESIGNLAB(デザインラボ)」を設置しました。
 デザインラボでは、岩手県内の製造事業者及びデザイナー等を対象に、「デザインの普及啓発」、「商品開発支援」、「デザイン手法・製品技術の研究開発」の3つの活動により、北国(岩手)の暮らしを創造するための支援を行います。



ホームページ <http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/>
 Facebook <https://www.facebook.com/IIRI.DESIGN.LAB/>
 Youtube <https://www.youtube.com/channel/UCiJY8goqHccQAwUJJWHU45Q>

令和7年度実施予定	令和7年度実施予定	令和7年度実施予定
継続して実施予定	継続して実施予定	継続して実施予定

岩手県	機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115

事業名	IIRI DESIGN LAB 令和7年度 まんずデザイン相談の日
-----	-----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

開催日: 毎月第3木曜日(基本)
 時間: ①9時～、②10時30分～、③13時30分～、④15時～
 ※全4回、各回50分程度
 場所: 岩手県工業技術センター デザインラボ(岩手県盛岡市北飯岡2-4-25)
 ※オンライン対応可
 内容: デザインに関する技術等の相談
 パッケージ、商品開発、集客、UI、宣伝・広告、Web、材料活用、UX、プロダクト、製品設計、グラフィック、自社技術活用、ブランディング、商品企画、PR、加工技術、販売促進、ビジネスモデル、デザイン経営、等
 対象者: 商品開発、製造、販売、サービス、経営などの事業を行っている・行おうと
 考えている企業・個人。
 定員: 各回1組(先着順)
 相談員: 産業デザイン部 研究員
 参加費: 無料
 主催: 地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
 申込方法: 電子メール ※詳細は岩手県工業技術センターデザインラボ HP に掲載。

IIRI DESIGN LAB(岩手県工業技術センターデザインラボ)トップページ
<https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/>
 IIRI DESIGN LAB からのお知らせ
<https://www5.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/news.php?cat=0>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和7年4月から令和8年3月まで実施予定	令和5年度	-

宮城県	機関名	宮城県
	部署名	経済商工観光部 新産業振興課/産業技術総合センター
	電話連絡先	022-211-2722/022-377-8700

事業名	高度技術者養成研修「デザイン・商品企画コース」
-----	-------------------------

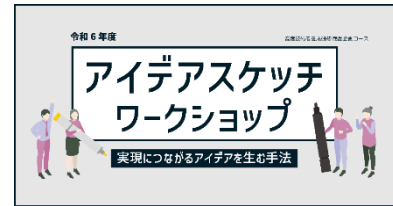
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■令和6年度 高度技術者養成研修 商品企画・デザインコース(有料研修)

(1) 生成 AI を活用した「マーケットイン手法による商品開発研修」
 開催日:令和6年7月23日(火)～7月24日(水)
 会場:宮城県産業技術総合センター
 講師:株式会社フォグラ 代表取締役 高橋 雄一郎 氏
 定員:10名
 詳細: https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r6_marketin/



(2) アイデアスケッチワークショップ
 開催日:令和6年8月27日(火)～8月28日(水)
 会場:宮城県産業技術総合センター
 講師:情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 教授 小林茂氏
 定員:10名
 詳細: https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r6_ideasketch/



(3) 【初心者向け】手軽に物撮り(商品撮影)ワークショップ
 開催日:令和7年2月26日(火)
 会場:宮城県産業技術総合センター
 講師:宮城県産業技術総合センター 商品開発支援班 職員
 定員:5名
 詳細: https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/2024_photo/



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成3年度	547千円 (事業全体 1,314千円)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	山形エクセレントデザイン事業
------------	-----------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内製品を対象とした顕彰事業「山形エクセレントデザイン」を平成9年度に開始した。現在は隔年開催としており、令和5年度に 13 回目となる「山形エクセレントデザイン 2023」を実施し、令和6年度には同受賞作品を展示する「山形をひらく、みんなのデザイン 山形エクセレントデザイン展 2024」を開催した。

■山形をひらく、みんなのデザイン 山形エクセレントデザイン展 2024

主催:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)
 協力:東北芸術工科大学(みちのおくの芸術祭「山形ビエンナーレ 2024」、「夏芸大」、株式会社金入、株式会社 DMC 天童温泉
 内容:山形エクセレントデザイン 2023 受賞作品の展示、現地ツアー、ワークショップ
 夏芸大連携企画 特別講座:「山形をひらく、みんなのデザイン」/講師 長谷川敦士 氏
 期間:令和6年9月1日(日)～9月16日(月・祝)、※特別講座は、8月31日(土)
 会場:東北芸術工科大学



展示の様子



現地ツアーの様子



リーフレット(表紙)

■山形エクセレントデザイン 2023(参考)

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)
 内容:魅力的で競争力の高い製品づくりとデザインマインドの向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインの製品や取り組みを選定・顕彰する。
 募集期間:令和5年7月3日(月)～9月8日(金)
 募集対象:過去5年以内に、県内で企画・開発・生産され、令和5年12月までにユーザーが購入または利用できるもの・こと
 応募数:60点
 審査委員:長谷川敦士氏(武蔵野美術大学 教授 / 株式会社コンセント 代表)、宇南山加子氏(株式会社 SyuRo 代表)、
 酒井聡氏(東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科 教授)、原田祐馬氏(UMA/design farm 代表)、
 吉泉聡氏(TAKT PROJECT 代表 / デザイナー)

選定結果:

- エクセレントデザイン大賞 「シェルターインクルーシブプレイス コバル」(株式会社夢の公園)
- 準大賞(2点) 「フルーツボックス りんごノラ・フランス」(株式会社丸定)
 「天童荘つなぎ勸治郎 ～天童温泉の源泉槽と景観・街並みの創出～」(株式会社天童荘)
- プロジェクトデザイン賞 「245Skate Park」(株式会社矢萩土建)
- サーキュラーデザイン賞 「KAKI ENERGY BAR (柿ベースエナジーバー)」(1Blue 株式会社)
- 入賞(8点) 「崑右工門の焼き干し芋」(株式会社 KIUEMON)
 「公共空間を舞台にした家具ブランド「neighbor」の開発」(株式会社 O1、株式会社 Y.D.K)
 「アレルギー対応離乳食「太陽と月のひかり」」(keiki li'ili'i 株式会社)
 「子姫芋キムチ(さがえ子姫芋活用プロジェクト)」(さがえ子姫芋組合)
 「Charmurs(シャルムス) スイートアーモンドオイル」(シャルム株式会社)
 「テーブル [bambi F-2738・F-2737・F-2742]」(株式会社天童木工)
 「ものづくりと情報発信をお手伝いするサービス「HIKARUBE」」(有限会社ヒカルマシナリー)
 「コニャクラゲ・チャコニャクラゲ」(まるい食品株式会社)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
「山形エクセレントデザイン 2025」の選定・顕彰を予定	平成9年度	3,415 千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	販路開拓支援事業”ブラッシュアップスクール”
-----	------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

「山形エクセレントデザイン 2023」受賞企業および奨励企業の販路開拓を目的とし、売り場視点からのブラッシュアップと販路開拓手法を学ぶ勉強会を開催するとともに、東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展し、販路開拓を行った。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■ブラッシュアップスクール

内容:講師による講話及びアドバイス、受講者によるグループ討議

期日:令和6年5月～令和7年3月(計5回開催)

会場:山形県工業技術センター

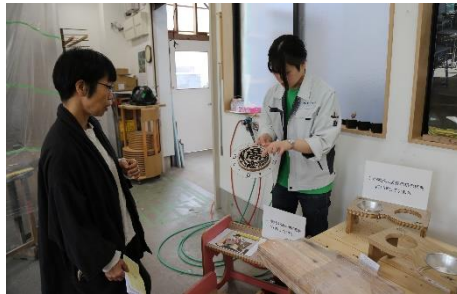
受講料:無料

参加企業:8社(山形エクセレントデザイン 2023 受賞企業、奨励企業)

講師:日野明子 氏(スタジオ木瓜 代表)、會田悠城 氏((有)ヒカルマシナリー)



グループ討議の様子



講師による企業訪問

■東京インターナショナル・ギフト・ショー出展

期日:令和7年2月12日(水)～2月14日(金)

会場:東京ビッグサイト

出展負担金:2万円(負担金その他、旅費・宿泊費については各自負担)

出展企業:5社(山形エクセレントデザイン 2023 受賞企業)



展示ブースの様子

< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定 「山形エクセレントデザイン 2025」の受賞企業・奨励企業等を対象とした ブラッシュアップスクールを開催	平成 27 年度	3,415 千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	デザイン活用促進事業“デザ縁”
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内企業のデザイン力向上と積極的なデザイン活用を図るため、企業とデザイナーによるマッチング会を行う。企業とデザイナーの良好な関係を構築し、県内ものづくり企業がデザインを活用した自社製品開発に取り組みきっかけをつくる。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■デザ縁(企業とデザイナーのマッチング)

内容:県内外のデザイナーによる県内製造業者のマッチング会を実施する。

期日:令和6年11月29日(金)

会場:山形県高度技術研究開発センター

参加者:製造業、サービス業、農業法人、行政機関等 50名

デザイナー:デザイン山形(山形市)、(株)フロット クリエイティブセクション(山形市)、strobelight(大江町)、竹永絵里(山形市)、青木亮太(朝日町)、クリエイティブ Lab(坂部印刷(株))(山形市)、(株)nanoha(山形市)、anori(山形市)、(同)DESIGN STUDIO K(山形市)、(株)アーキテクチュアランドスケープ(山形市)【10組12名】



デザイナーによる仕事紹介



デザイナーとの交流会

■オンライン“デザ縁”

内容:県内で活躍するデザイナーを紹介する「オンライン“デザ縁”」のホームページを運営し、オンラインで県内企業とデザイナーのマッチングを行った。



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >
<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 27 年度	3,415 千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	デザイン経営トランスフォーメーション促進事業 (やまがた&Dプロジェクト トランスフォーメーションスクール)
------------	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内企業と東北芸術工科大学学生が、様々な社会変化の兆しを学び、企業の新事業案を構想する勉強会を開催する。また、東北芸術工科大学学生との交流を通じて、双方の魅力の共有とコミュニティの形成を促し、県内におけるクリエイティブ人材の育成と活用を目指す。

実施主体:山形県

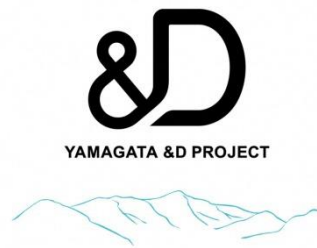
■デザイン経営トランスフォーメーション促進事業(やまがた&Dプロジェクト トランスフォーメーションスクール)

内容:多様な外部講師による講義を聞くことにより社会変化の兆しをインプットし、企業側は自社の課題の探究、学生側は若者の視点を活かした課題解決のためのアイデアを創出し、企業側に提案する。

参加者:企業6社、学生20名

企業チーム講師:石川俊祐氏(株式会社 KESIKI 共同経営者)

学生チーム総指揮:中山ダイスケ氏(東北芸術工科大学 学長)



企業同士のワークショップの様子



芸工大での企業と学生の合同勉強会

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	2,000 千円

福島県	機関名	福島県
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課
	電話連絡先	024-521-7296

事業名	進化する伝統産業創生事業(ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー)
-----	------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

ふくしまクリエイティブクラフトアカデミーの開講・運営

県内の伝統工芸・地場産業に携わる人材が、デザイン・マーケティング・ブランディング・商品開発等にかかる知識を習得し、販売力強化に向けたスキルアップを図る場として、「ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー」を開講。

①受講対象：県内の地場産業に携わる職人・事業者・組合等、県内の地場産業の担い手を目指す者

②受講者数：28名(令和6年度)

③内容：ブランディングやデザイン等に精通した外部人材を講師とし、「海外市場の開拓」及び「海外観光客の需要」を見据えたワークショップ、講義、修了式・成果発表会のカリキュラムを実施した。また、台湾 TSUTAYA2 店舗にてテストマーケティングを行った。



<参考 URL>

<https://fukushima-craft.jp/about/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成28年度	23,718千円 (R6年度)

福島県	機関名	福島県
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課
	電話連絡先	024-521-7296

事業名	「売れるデザイン」イノベーション事業
-----	--------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

- ふくしまベストデザインコンペティションの実施

県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」へのデザインの活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品を創出するため、優れたデザインを表彰するコンテストを実施する。

 - 対象商品
 - ①生産、製造または加工の最終段階を県内で行っている商品。
 - ②主な原材料が福島県産であって、県外の事業者等により製造された場合は、県内に主たる事業所を有する者が販売を行っている商品。
 - 審査委員

小山薫堂、真鍋かをり、国井美果、鈴木正晴、鈴木順之、菊地敦己、(公財)福島県観光物産交流協会理事長、県観光交流局長
 - 表彰部門
 - ・パッケージデザイン部門 ・キャッチコピー・ネーミング部門
 - ・プロダクトデザイン部門 ・クリエイターズバンク部門
 - 賞
 - ・グランプリ 1者 ・ゴールド 各部門1者
 - ・シルバー 各部門1者 ・ブロンズ 各部門1者
 - ・審査委員特別賞 1者 ・ロングライフデザイン賞 1者
 - ・イノベティブデザイン賞 1者



2019-20
グランプリ
さんま ささ干



2020-21
グランプリ
赤べこ絵付けキット



2022-23
グランプリ
福島県内 六酒蔵酒粕
ジェラートセット



2024-25
グランプリ
なん度も使えて可燃ごみに出せる
ペコペコしないサトウキビなコップ

- クリエイターズバンクの運営

県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」等へのデザイン活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品の創出や効果的な販路開拓に繋げるため、事業者とクリエイターとの出会いの場をつくり、マッチング支援を行う

○ 事業概要

ふくしまクリエイターズバンクに登録するクリエイターと、デザイン活用を図りたい事業者のマッチングを行い、協業による新パッケージや販促物等の開発、ブランディング支援等を行う。

また、事業費の一部(事業者がクリエイターへ支払うデザイン開発経費等のうち半額(最大10万円))を県が支援する。

○ 募集対象者

①事業者

対象商品(県産品(生産、製造又は加工の最終段階を県内で行っている商品)として県内外で販売されているもの、または今後販売予定のもの。)の生産又は製造を行う県内事業者

②クリエイター

日本国内在住で、3年以上の実務経験及び実績を有する者。



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	平成30年度	17,282千円 (R6年度)

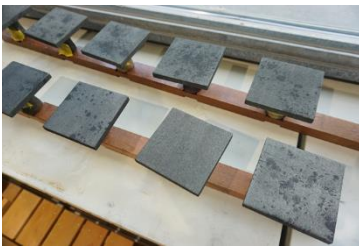
福島県	機関名	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
	部署名	産業工芸科
	電話連絡先	0242-39-2978

事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「漆とデザインの研究会」
-----	-----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

漆とデザインの研究会は、漆器製造に関わる先人達が築き上げてきた技術、知識、意味を再確認し、現代に適合した漆塗料の在り方やデザイン性を追求し、新商品に結びつけるための技術研修と習得を行う研究会として活動している。

内 容:漆器製造に関わる技術に関する講習会、実習、視察
 開催日時:毎月第3水曜日 13時30分～15時30分(都合により変更になる場合がございます。)
 場 所:福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター ほか
 参 加 者:漆器の製造、販売、商品開発を行っている企業、個人
 講 師:県内、及び県外の大学教員、ハイテクプラザ職員、会津漆器職人 など



実習、講習会



視察(漆の大木)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成22年度	134千円

福島県	機関名	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
	部署名	産業工芸科
	電話連絡先	0242-39-2978

事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「デジタルデザイン分科会」
-----	------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デジタルデザイン分科会は、主に県内企業のデジタルファブ리케이션(2D/3D データなどのデジタルデータを活用したモノづくり技術)に関する研修や習得を行う勉強会として活動している。

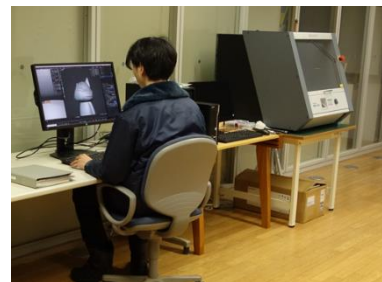
内 容:

開催日時:不定期

場 所:福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター(リアルまたはオンライン形式)

参 加 者:主に県内の商品開発、製造、販売、サービス等の事業を行っている企業または個人

講 師:ハイテクプラザ職員、県内、及び県外の大学教員、その他外部講師 など



デザイン支援機器の実習(3D スキャナーなど)

※予算額は「漆とデザインの研究会」との合算です。

令和7年度実施予定

開始年度

予算額

継続して実施予定

令和元年度

134 千円※

東北経済産業局	機関名	東北経済産業局
	部署名	総務企画部企画調査課
	電話連絡先	022-221-4874
事業名	令和 6 年度地域のデザインリテラシー向上に向けた、インタウンデザイナーと自治体等の地域活性化に取り組む主体をつなぐ「ナレッジシェア・ポート(知識移転の場)創出」実証調査事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

1. 概要

少子高齢化、大都市への若年層の流出等をはじめ、地域課題が多様化・複雑化している中、地域の持続的な発展に貢献する専門人材の一つとして「インタウンデザイナー」に着目。東北地域において、インタウンデザイナーが地域課題にどのように向き合っどどのような役割を担っているか、また、地方自治体等の地域課題解決に取り組む主体との共創促進に必要な要素や課題を明らかにするため、インタウンデザイナーへのヒアリングや討論会を実施した。実施結果はガイドブックとしてまとめ、公開している。

2. 実施内容

(1) インタウンデザイナーの掘り起こし、ヒアリング

東北各県からそれぞれインタウンデザイナーを1名ずつ発掘し、各者の取組内容や、東北地域への想いやデザインへの向き合い方、地方自治体等の共創内容についてヒアリングを実施。

【ヒアリング先】

- ・トコカワイラスト研究室 豊川 茅 氏(青森県青森市)
- ・鈴木 健一 氏(岩手県花巻市)
- ・合同会社スカイスター 伊藤 典博 氏(宮城県仙台市)
- ・ココラボトリー 後藤 仁 氏(秋田県秋田市)
- ・羽越のデザイン企業組合 富樫 繁朋 氏(山形県鶴岡市)
- ・手作業 小池 晶子 氏(福島県福島市)



日本海篇

(2) 公開イベントの開催

(1)及び令和 5 年度に発掘したインタウンデザイナー、地域課題解決へ主体として取り組む地方自治体の職員等を登壇者とし、地域課題解決に対するデザインの有効性や、地方自治体等とインタウンデザイナーが共創するうえで必要となる要素や課題等を議論する討論会を、日本海篇として秋田県、太平洋篇として宮城県でそれぞれ開催。

開催地	日時	場所	参加人数
秋田県秋田市(日本海篇)	2025年1月26日(日)	秋田市文化創造館	140名
宮城県仙台市(太平洋篇)	2025年2月22日(土)	STUDIO 080	120名



太平洋篇

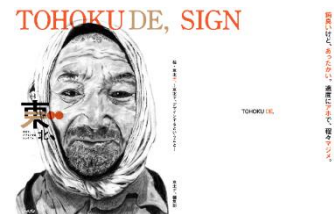
(3) ガイドブックの作成

地域のデザインリテラシーの向上や、地域課題解決に取り組む主体とデザイン人材の共創促進に繋がるよう、(1)及び(2)の実施により得られた知見をガイドブックとしてまとめ、公開。

3. 参考 URL

【調査結果のご案内】 <https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/250526.html>

【ガイドブック】 https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/pdf/250526_1.pdf



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
令和 6 年度で事業終了	令和 5 年度	3,992 千円